

with smile

ホームページをリニューアルしました！号

「スマイルアスリート」
アイスホッケー

大澤 ちほさん



特集

この春よりリニューアル！

SGSC ホームページ

「スポーツボランティアページ」を紹介

オリンピック・パラリンピック出場者からのメッセージ

スマイルアスリート

おおさわ

アイスホッケー

大澤 ちほ さん



自己紹介と最近の活動について

北海道苫小牧市出身で、アイスホッケー選手だった父親の影響や苫小牧というアイスホッケーが盛んな地域柄もあり、6歳からアイスホッケーを始めました。

2014年ソチ五輪、2018年平昌五輪、2022年北京五輪と3大会連続でスマイルジャパンのキャプテンとしてオリンピックに出場しました。また、アメリカやスウェーデンリーグでのプレー経験もあります。

2022年8月に現役選手を引退し、今は『大澤ちほスマイルプロジェクト』を立ち上げ、アイスホッケーの普及・強化・認知度UPを目指して活動をしています。また、日本アイスホッケー連盟のアスリート委員会委員長としても活動中です。

大会おもしろエピソード

2014年に出場したソチオリンピックのロシア戦で、観客からのブーイングを初めて経験しました。

日本での試合だと大きな声での応援やブーイングをされることはほぼなく、それまでに出場したことのある世界大会でもほとんどなかったのが初めての経験でした。約4,000人の観客からブーイングやロシア寄りの声援が送られている中での試合だったのですごく印象に残っていますが、実際はロシア語なので何を話しているかはわからずそこまで気になりませんでした（笑）

ボランティアへの思い

大会運営のサポートとして必要不可欠な存在であることはもちろん、ボランティアの皆さんからの声はとても力になります！

特に最後に出場した北京オリンピックでは、新型コロナウイルス感染症の影響により無観客での開催だったため、ボランティアの方々からの声援が唯一会場で感じられる生の応援だったのですごく力になりました。

また、どのスポーツの会場でもボランティアの皆さんが楽しんで会場にいることが印象的で、大会運営のサポートだけではなく会場の良い雰囲気作りの重要な役割を担っていると思います。いつも様々な面でのサポートありがとうございます！

毎日続けていること

ゴルフボールで足の裏をほぐしてからストレッチすることです。足の裏にはたくさんのツボがあり、第二の心臓と呼ばれるくらい大切な部位です。その足の裏を朝晩しっかりとほぐしてからストレッチするようにしています。朝は1日の始まりのスイッチとして、夜は疲れた体をリセットという意味で、選手を引退した今もずっと続けています。選手の時はずっとスクートを履く前も必ずゴルフボールで足の裏をほぐしていました。

気持ち良いので皆さんもぜひやってみてください！ゴルフボールだと硬い場合は、少し柔らかめのボールから始めるのがおすすめです。



アスリートからの
挑戦状

アイスホッケーで使用するスティックの長さは決まっている。○か×か。

SGSC ホームページ「スポーツボランティアページ」を一新！

スポーツボランティアのコンテンツ増加に伴い、見やすく・使いやすいように、さっぽろグローバルスポーツコミッション (SGSC)「スポーツボランティアページ」を、このたびリニューアルしました！
ここでは、主な新しい機能をご紹介します。

スマサポ初心者の方もベテランの方も是非、ホームページにアクセスして、新しい「スポーツボランティアページ」をご覧ください。



NEW！主な新しい機能	
① スマイル・サポーターズとは	・スマサポの魅力、活動の紹介やボランティア参加までの流れをわかりやすく紹介
② スマサポ NEWS	・会報誌「With Smile」発行のお知らせや、ボランティア募集について告知
③ 「マイページ」ログインボタン	・ログイン画面に直接アクセスできる「マイページログイン」ボタンを設置
④ ボランティア募集中カレンダー	・募集中のボランティア案件を見やすく可視化
⑤ FAQ よくある質問	・事務局に寄せられる「よくある質問と回答」を掲載

会報誌「With Smile」発行月変更のお知らせ

令和2～3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響によりボランティア活動の場が無い状況下となりましたが、活動がない間もスポーツを楽しんでいただくため、旧来の紙面数を増やすなど会報誌のリニューアルを行いました。令和4年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止策が各スポーツイベント・大会にて講じられる様になり、ボランティア活動件数はコロナ禍前の派遣件数とほぼ同数まで回復。新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症へ移行となった今年度は、更なるボランティア件数が見込まれます。

今後、ボランティア募集やスポーツイベントの情報については、新鮮な情報としてスピード感を持った情報発信を行うため、リニューアルしたSGSCホームページ内「スポーツボランティアページ」やメール配信での情報発信をメインとし、会報誌「With Smile」については、主にオリンピック・パラリンピックのインタビュー記事やスマサポが活躍したイベント特集といったテーマを持った特集記事を発信する媒体として隔月発行に変更させていただくことになりました。どうぞご理解賜りますようお願い申し上げます。



ご協力ありがとうございました！

3月はレバンガ北海道の試合がきたえーるにて3週にわたり開催され、たくさんのボランティアにご協力いただきました。スマサポの皆さんには、主にチラシの準備や、チケット確認、会場内の座席案内などを行っていただきました。

3月18～21日には、「2023 FIS パラノルディックスキーアジア杯 札幌大会」が白旗山競技場で開催され、今回は日本・韓国・モンゴル・カザフスタンに加え、ウクライナ選手団を招待した国際大会となりました。大会当日には、主に車いす利用者の補助や観戦者への応援グッズの配布に加え、事前研修を踏まえた競技に関する解説などを担っていただきました。

ボランティアにご協力いただき、どうもありがとうございました。活動報告書の中から皆さんの声を一部ご紹介させていただきます。



◆レバンガ北海道 運営ボランティア

- バスケの試合を初めて観戦し、良い経験になりました。次のボランティア活動に生かすことができそうです。
- 試合を観戦するだけでなく、準備などに関われることでよりスポーツを身近に感じることができました。
- 和気あいあいと楽しく活動しました。また参加するのが楽しみです。

◆2023 FIS パラノルディックスキーアジア杯 札幌大会

- スマイル・サポーターズとしての活動は初めてでしたが、楽しく活動することができ、学びも多かったです。東京2020 フィールドキャスト用の事前オンライン研修の知識が大変役に立ちました（声掛けの方法や具体的な介助技能など）。
- パラスキーの国際大会に従事するのも観戦するのも初めてで、とても有意義でした。ハンディが違う中、一緒にレースを競い頑張る選手の姿に感動しました。

従事いただいたスマサポの皆さん、本当にお疲れ様でした！今後も、みなさんのご協力よろしく願いいたします！

R4 年度（2022 年） ボランティア活動実績

昨年度は、計 24 件のボランティア活動に総勢延べ 1,107 名のスマサポの皆さんにご協力いただきました。新型コロナウイルス感染症の影響による活動休止期間前の活動件数に、ほぼ戻りつつある状況となりました。

後期には、これまでにあまり無かったプロスポーツチームからのボランティア依頼もあり、バスケットボールやアイスホッケーに携わるボランティアにご参加いただきました。

4月	—	1月	IH アジアリーグ公式戦レッドイーグルス北海道
5月	SAPPORO★ティネットレイル 2022		B.LEAGUE レバンガ北海道
6月	札幌・モエレ沼トライアルマラソン 2022		小学校スキー学習支援
7月	—	2月	第 43 回 札幌国際スキーマラソン大会
8月	サマージャンプ大会 2022（体験ブース）		IH アジアリーグ公式戦レッドイーグルス北海道
9月	北海道マラソン 2022		シットスキー学習サポート
10月	札幌あおぞらマラソン 2022 オータム大会		さっぽろスノースポーツフェスタ シットスキー体験ブース
11月	第 47 回 札幌マラソン		ほっかいどう大運動会
12月	IH アジアリーグ公式戦レッドイーグルス北海道		コンサドーレ札幌 体力測定ブース
	B.LEAGUE レバンガ北海道	3月	やってみよう！遊ぼう！北区雪合戦
			B.LEAGUE レバンガ北海道
			2023 FIS パラノルディックスキーアジア杯札幌大会

〈アスリートからの挑戦状の答え〉 ×

決まっていません。自分の好きな長さに調節でき、DF（ディフェンス）だと少し長めに、FW（フォワード）だと少し短めにする場合が多いです。